



「第3回成塚団地内交通安全対策説明会」対策案ほぼ固まる！

11

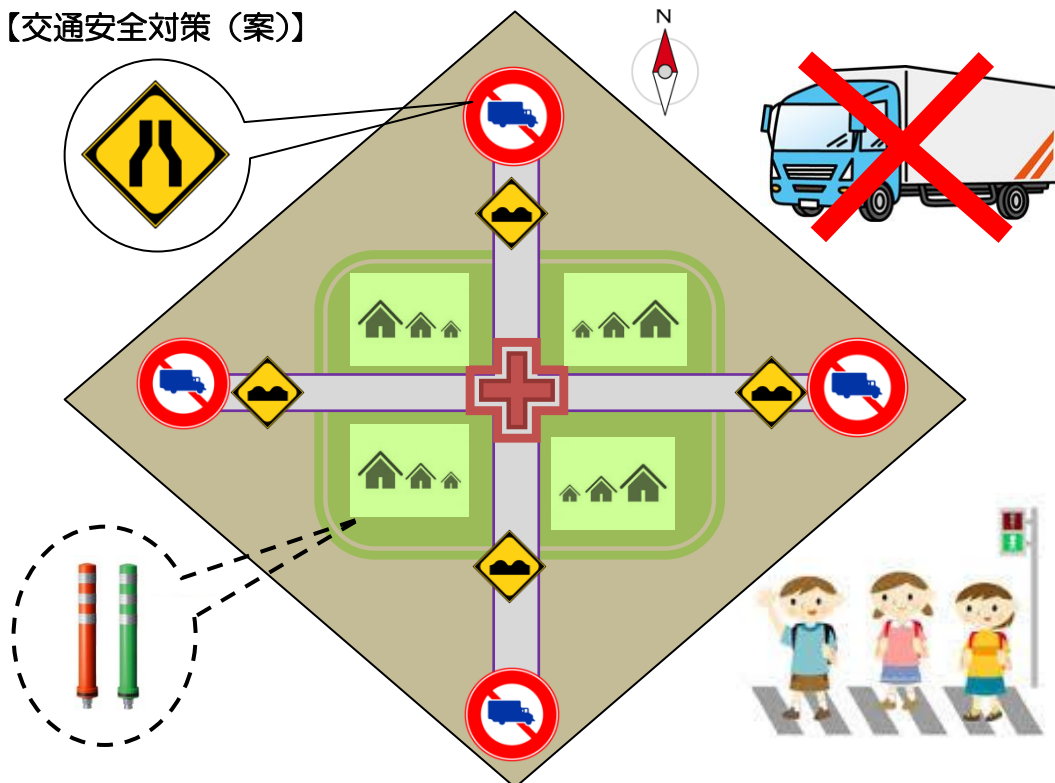
月 30 日(水)午後6時よりスマートインターチェンジ
開通に係る「第3回 交通安全対策説明会」が成塚会
館において開催されました(参加者約20名)。内容は、9月に
行われた第2回説明会で議論された対策をどこに配置するかを
具体的に示し、協議しました。

その結果、次のことが決定しました。また、今後、通学路の必要箇所に信号機を検討していくこととしました。



- ①主要南北、東西の市道を大型車進入禁止とする。
- ②団地北交差点(北関側道部)の右折帯を廃止し歩道を拡幅する。
- ③住宅団地の手前にハンプ(段差)を設置する。
- ④主要交差点内をカラー舗装する。
- ⑤ポールや表示で補完する。

【交通安全対策(案)】





おおたんのスマートインターチェンジ講座

その5



太田市には2つもインターチェンジがあるよ。
なぜ3つもつくるの？



答え

県内を見わたしても3つあるのは前橋市くらいで全くない市や町もあります。だからと言って、太田市は意味もなくつくるわけではありません。

その最大の理由のひとつが、平成21年に示された国の方針です。このなかで、「地域活性化を推進するため、スマートインターチェンジを導入し、高速道路のインターチェンジ間隔を欧米並み（約5km）に改善する」ということを掲げました。制度としては、国が設置に係る費用を補助するというものです。当然のことながらこの制度に多くの市町が名乗りを挙げました。国の予算も限度があるため、市ではいち早く条件面や基準の審査をクリアし、国の許可を得ることができました。

そんな訳で、市は小さな負担（下図；左表）で整備することが可能となりました。もちろん2つより3つ、その整備効果（下図；右）は絶大です。

【事業費内訳表】 [単位:億円]

スマートIC全体事業費 (内訳)	18.9
日本高速道路保有債務 返済機構	12.8
ネクスコ東日本	1.7
太田市	4.4

※PAはネクスコ東日本が整備します。

★期待される5つの【整備効果】

1. 産業の活性化
2. 観光振興の支援
3. 救急医療活動の支援
4. 防災性の向上
5. 高速道路利用圏域の拡大



発行：太田スマートインターチェンジ地区協議会

スマートインターチェンジに関するご質問、お問い合わせについては
下記までご連絡ください。

【事務局】太田市 スマートインター整備室

TEL.0276-47-3320

